

平成21年度 世界遺産保存管理事業

セミナー「熊野古道と文化的景観」実施要項

三重県教育委員会 社会教育・文化財保護室

1 主旨

熊野参詣道（伊勢路）の世界遺産登録は、地域住民、林業関係者、ならびに、市町の文化財保護審議会委員などの活動と連携が結集された成果です。

「紀伊山地の霊場と参詣道」の文化的景観は、世界から高く評価されています。この景観が育まれた背景には、当地に高い文化的素質とそれを育んだ歴史があるといえますが、その認識は未だ深まっていません。世界遺産の保全と活用をより一層推進するためには、当地の「素晴らしさ」を発見することが大切です。

そこで、世界遺産の保全・活用に直接的に携わる関係者を対象に、当地の「文化的景観」とそれを育んだ「地域力」について研修する機会を設けます。

2 内容

地域や文化的景観に精通した有識者を招聘し、熊野古道にかかる文化的景観を多角的な視点から学び、研究、活用するヒントを得ます。平成21年度は、世界遺産登録5周年に際し、あらためて熊野古道の価値を考え、現代に繋がる熊野古道の基底をなす地域の持つ景観と歴史を再認識できるものとします。

3 対象

- (1) 山林所有者や森林組合などの林業関係者
- (2) 保存会や熊野古道語り部友の会の関係者
- (3) 歴史的・文化的資産保全活用推進員
- (4) 東紀州地域関係市町の文化財保護審議会委員・景観保全委員
- (5) 東紀州地域関係市町の文化財および行政担当者
- (6) 三重県内の文化財に関心を持つ県民等

4 日程

【第1回 セミナー】

- ・ 日時 平成21年11月29日（日） 13時30分から15時30分
- ・ 場所 三重県熊野庁舎
- ・ 講師 播磨良紀氏（四日市大学教授）
- ・ 演題「戦国・織豊期の熊野川地域」

【第2回 セミナー】

- ・ 日時 平成22年2月20日（土）
- ・ 場所 三重県尾鷲庁舎（予定）
- ・ 講師 丸山 宏氏（名城大学教授）
- ・ 演題「熊野古道と森林景観（仮題）」

5 実施方法

- ・ 主催 三重県教育委員会
- ・ 共催 日本イコモス国内委員会、東紀州観光まちづくり公社